

ゴールデンウィークを迎え観光や帰省で道路が渋滞します。車の運転は性格が出るといいますが、人権意識も垣間見ることができません。例えば、急な割り込みは後ろの車が急ブレーキをかけることになり危険です。ウインカーを出さないでの停車や方向転換も、いきなり前の車が減速するので、後ろの車はドキッとします。後ろの走っている車のこと、運転手のことを考えることは、人を思う人権意識と通じるところがあります。ふとした散漫から事故にならないよう人権意識を持って安全に運転したいものです。



山梨県立夜間中学・学びの多様化学校への期待と課題

山梨県教育委員会は、2028年度の開校を目指す県立の「夜間中学」と「学びの多様化学校」について、本年3月に設置基本計画を発表しました。(※1)(※2)その両校は、2年後に山梨県立中央高校(甲府市飯田5-6-23)内に開校の見込です。授業料は無償、教科書は無償で配布するとのことです。

本県でも、義務教育が未修了の人(含・外国人住民)や学齢期に不登校を経験した人、不登校児童生徒が一定数います。その社会的な自立に役立つ「学び直しの場」や「学びを継続できる場」としての夜間中学や学びの多様化学校(旧・不登校特例校)の設置が喫緊の課題となっていました。

その「設置基本計画」(P5)の基本理念(目指す学校像)では、「①年代、性別、国籍、取り巻く環境にかかわらず、学びたいと願うすべての人に対して、いつでも学びの扉が開かれている学校、②その人らしさが尊重され、一人ひとりが大切にされる学校、③わかる・できる・楽しいという学び、体験活動、人とのかかわりを通じて、一人ひとりの“やってみよう”という気持ちが育まれる学校」という高邁な理想が掲げられています。

本県では、不登校児童生徒(病気以外で年間欠席日数が30日以上)も年々増加しています。文部科学省の令和6年度調査によれば、本県の公立小中学校の不登校生徒数は、小学校で830人(2.4%)、中学校で1,425人(7.8%)とのことです。全国的には、小中学校の不登校児童のうち、学校外の機関(教育支援センターやフリースクール等)で相談・指導を受けている割合は約6割。裏を返せば、残りの約4割の児童は学校以外の就学機会を得られていない可能性があります。

また、県内の教育支援センターは大半の市町村にあり、フリースクールも21校あるものの(※3)、一人ひとりの不登校児童へのきめ細かな支援を十分に行うことは困難です。それが可能となる公設の「学びの多様化学校」(※4)の開校が待ち望まれていました。ただ、県立中央高校内に設置されるこれらの2校の各学年の生徒数は15名(学校全体では45名×2校)と限られています。全県で2千人以上いる不登校児童数と比較すると非常に少なく、今後の大幅な拡充を期待します。

また、県内各地の民間フリースクールの大半は、慢性的な財源不足に悩まされています。学校教育法上の「学校」ではないため、国や県から経費の助成が受けられません。このため、週5日制(登校型、オンライン型)のフリースクールの場合、月謝が約4万円ほどかかる学校もあります。できれば、長野県の「信州型フリースクール認証制度」のように、認証したフリースクールに対して、行政が利用家庭に補助金を交付する仕組みづくりが望まれます。



(※1) 山梨県立夜間中学・学びの多様化学校設置基本計画【概要版】
<https://www.pref.yamanashi.jp/documents/103754/settikihonkeikaku-gaiyouban.pdf>



(※3) 山梨県内の教育支援センターとフリースクールの一覧(県教委)
https://www.pref.yamanashi.jp/tokushi-jiseishien/futoukou/kyoikushien_center_free_school.html



(※2) 山梨県立夜間中学・学びの多様化学校設置基本計画
<https://www.pref.yamanashi.jp/documents/103754/settikihonkeikaku.pdf>



(※4) 文部科学省「学びの多様化学校について」
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1387008.htm

人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチャ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史
理事長：横山美香

〒400-0031 山梨県甲府市上町601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

<協賛>
山梨県
甲府市
甲斐市

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府南中学校 一年生女子

今日の講演会では「人権」について深く考
える良い機会になりました。人権という言葉
は難しいイメージでしたが、誰でも頭の中は
おいておくべきだと学びました。誰もが願う
ことが「幸せ」になりたい。死にたくないとい
うことを学び、共感しました。私は、特に
「自分が幸せになるには、他人を大切にす
る」という言葉が印象に残りました。今後、大切に
していきたいと思えました。他人を大切にす
ることは、言葉は簡単でも勇気が出なかった
り、自分を優先したりなど、実際には、
とても難しいと思えました。しかし、今でき
たとしても私達の学校生活や日常は人に関わる
場面が多いので、他人を大切にすることは千
やしのジグザグと進んでいくと思います。そ
れで、いかにはそれがあたりまえにならな
い、自分も他人も色々な人が幸せだと
思えるようにしたいです。自分も他人も色
々な人が幸せだと思えるようにしたいです。
自分も見えない所で助けられ、支えられ
ることを知れたので、そのことを忘れず、次
は自分が助けてあげられる人になりたいです。

甲府南中学校 一年生女子

今日の人権教室では、「死にたくない」と幸せ
になりました。最初は、人権とは何かと聞かれて
いました。最初は、人権とは何かと聞かれて
もよく分からず説明すらできない状態でした
。ですが、さすが、すごい先生の話聞いて、世界
にはおよそ八十億の人がいて八十億通りの顔
や考え方があって、ということを知ることが下
きました。また、「人権とは一番大切なこと」
という言葉聞いて、自分の中下改め考え
を見直すことができた、いい機会になったと思
うことが下きました。私たちのクラスは、他
人の考えをみんな聞き合い改善策を立てた
りと工夫を行って、いるので、今日教えてもら
った「人権」というものをさらに活用してい
けるようにしたいと思えました。日本国憲法
の一つにある「基本的人権の尊重」のように、他
人の考えも尊重できるような人になりたいと
思うことが下きました。すごい先生の話は
とても心に残り、考えが変わるきっかけにな
りました。本当にありがとうございました。